研究課題名	RNA-seq の死因究明への応用
研究期間	実施許可日 ~ 2027年3月31日
研究の対象	2008年1月1日~2026年3月31日の期間内に広島大学大学院医系科学研究科死因究明教育研究センターにおいて長尾が囑託された事例で薬物による死亡例および死因が不祥の事例。
研究の目的・方法	研究目的：RNA シークエンスを用いて、死因の究明ができるかを明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の組織・血液を用いて RNA シークエンスを実施し、そのデータから死亡時に起きていた生命現象を明らかにすることです。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、血液検査結果、画像検査結果等、解剖番号、死因 試料：血液、各臓器
外部への試料・情報の提供	本研究に関わる RNA シークエンス実施業務は(株)マクロジェン・ジャパンに委託します。 委託先：(株)マクロジェン・ジャパン 住所：東京都江東区青海2丁目4-32 タイム24ビル 試料は、本研究室で RNA を抽出後、RNA を山本薬品株式会社介して郵送で提供し、解析結果をマクロジェンのデータサーバーからダウンロードします。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	試料・情報は研究に用いる前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科法医学研究室 教授 長尾正崇 試料・情報の提供元機関およびその長 広島大学理事 田中純子 業務委託先 (株)マクロジェン・ジャパン 次世代シーケンス(NGS)サービス
その他	本研究で得られたデータは、人類の公衆衛生の向上に貢献する他の研究を行う上でも重要なデータとなるため、網羅的ゲノムデータを公的データベース（クリニカル・イノベーション・ネットワーク(CIN)レジストリ、科学技術振興機構バイオサイエンスデータベ

	<p>スセンター（NBDC）が運用するデータベース、NCBI GEO (Gene Expression Omnibus) 等）に登録する場合があります。国内外の多くの研究者と共有します。研究結果がデータベースを介して国内外の研究者に利用されることによって、その分野の研究全体がグローバルに推進され、新規技術の開発が進むとともに、今まで不可能であった疾患の原因の解明や治療法・予防法の確立に貢献する可能性があります。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、ご遺族の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学医系科学研究科法医学研究室 担当者：村田和大 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5173</p>